

堂畝紘子 写真展

# 生か、繋いで

—被爆三世の家族写真—

被爆者、被爆二世、被爆三世、そして四世へつながる命の記録。



—七十四年前のヒロシマ・ナガサキで、家族が体験したこと。

【会場】立命館大学国際平和ミュージアム 2階 常設展示室内

2019.5.1(水)-25(土) 9:30-16:30 (入館は16:00まで)

【休館日】日曜日/5月2日(木)/5月6日(月)

【見学資料費】大人 400円 (350円)、中高生 300円 (250円)、小学生 200円 (150円)

\* ( ) 内は 20 名以上の団体料金です。\* 先に地階受付で見学資料費をお支払いください。  
\* 立命館で学ぶ人・働く人は無料です。

問い合わせ先 /



立命館大学  
国際平和ミュージアム  
Kyoto Museum for World Peace,  
Ritsumeikan University

〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1  
TEL/075-465-8151 FAX/075-465-7899  
<http://www.ritsumei.ac.jp/mng/er/wp-museum/>

# 生き、繋いで

— 被爆三世の家族写真 —  
ひばくさんせい かぞくしゃしん

— 孫だから、聞けることもある —

原爆投下から74年。

被爆者の祖父母から実体験を直接聞くことができる最後の世代である私たちは、家族が体験した記憶をどう受け止め、次の世代に何を伝えていけば良いのだろうか。

核兵器とは何だろう。

戦争とは何だろう。

平和とは……？

被爆者高齢化が進む中、被爆・戦争体験と向き合う家族の現状を、被爆三世へとつながった命の記録とともに視覚化した作品展。



## どううね ひろこ 堂畝 紘子 Profile

写真家。広島市在住。

1982年、広島市に生まれる。高校卒業と同時に写真を始め、上京後、都内のスタジオで人物撮影を学ぶ。

2000年「太平洋戦争の国内戦跡」「源平史跡・伝承地」の記録撮影を開始。

都内DPE店にて店長を務めた後、2011年の福島第一原子力発電所事故を機に帰広。

2013年、出張撮影専門「こはる写真館」を開業。

2015年「被爆三世の家族写真」撮影・展示活動を開始。

2016年「被爆三世 これからの私たちはproject」を立ち上げる。

アナログ作品はモノクロ銀塩写真にこだわり、撮影から自宅暗室での現像・プリントまでを一貫して自身で行う。



### 【アクセス】

◆市バス 12・15・50・51・55・59, JR バスにて「立命館大学前」下車、徒歩 5 分

◆市バス 204・205 にて「わら天神前」下車、徒歩 10 分

※駐車場はありませんのでお車での来館はご遠慮ください

### 主 催 / 被爆三世 これからの私たちはproject

〒736-0085 広島県広島市安芸区矢野西6-4-26 こはる写真館内

URL / <http://hibaku3sei.tiyogami.com/>

MAIL / [hibaku3sei@gmail.com](mailto:hibaku3sei@gmail.com)

### 共 催 / 立命館大学 国際平和ミュージアム

◆「被爆三世 これからの私たちはproject」とは

被爆三世・同世代、次世代のこれからのを考えるための非営利な市民活動。有志メンバーによる集団または個人で、広島・長崎を拠点に作品制作・展示・発表活動を行っている。

被爆三世

— これからの私たちは— project